

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

胴串 -どぐし-

Autumn 2015

Vol.11

特集

フランスシャルルヴィル・メジエール
世界人形劇フェスティバルを訪ねて

Dogushi Vol.11 2015年10月発行 発行：人形劇のまち飯田運営協議会
制作：NPO法人いいた人形劇センター TEL:050-0044 長野県飯田市中町1-2 TEL:050-3583-3594 FAX:050-0044 E-mail: itida-puppet.com@mis.jan's.or.jp

掲示板 いいた人形劇センター からのお知らせ

せかいの劇場 Vol.3 ポリーナ・ポリソヴァ「Go!」

チケット販売中!



世界のすぐれた舞台作品を鑑賞する「せかいの劇場」第3弾は、各国のフェスティバルで上演し、高い評価を得るポリーナ・ポリソヴァ(フランス)が登場します。日本初公演の作品「Go!」をお見逃しなく!

日時:11月21日(土) 18:00
22日(日) 11:00
会場:麻織の館(飯田市座光寺)
料金:大人2,000円
小中高大生1,000円
(未就学児の入場不可)
販売:いいた人形劇センター
飯田文化会館
託児:11月12日(木)までにお申し込みください
問合せ:いいた人形劇センター
☎050-3583-3594

Dogushi

並木 さんぽ

2013年11月に制作を始めた人形劇「人魚姫」。今年3月初演、8月フェスタで再演。そして10月台湾の雲林国際偶戯節にて海外公演を経験。キャスト・スタッフ全員、それぞれの都合がありながら「人魚姫」を最優先にしてくれたに違いない2年間でした。今後も上演できる機会をつくり、多くの方にご覧いただけたらと願ってやみません。そして今秋、新たに南信州を舞台に巨大な人形劇をつくるプロジェクトが動き出しました。現在、参加者募集中。一緒に創造し、飯田から世界へ発信する作品をつくりましょう。

次号は2016年1月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子



View of IIDA

いいた人形劇センターのワークショップから誕生した3作品の連続公演が10月4日、飯田人形劇場で開催されました。デザインコースから「おもちゃのお姫さま」(写真)と「かざこし姫」、初級コースから「ぶんぶく茶釜」。会場は150人ものお客さんの熱気に包まれました。

わかる!! 人形劇用語

「ガブ」

突然、鬼の顔に変身する、人形の頭に仕掛けられ優れモノのからくりの事。黒田人形には、「薫樹類物語土橋の段」という演目で使用した「類」という頭があるし、秋の奉納公演で演じられた今田人形の「日高川入相花王」でも、「渡し場の段」で使われている。「日高川」では、嫉妬に狂った清姫という美女が川に飛び込む

と、いきなり鬼の形相に変わるといふ有名なシーンで、これを見ることのできる。

目玉がひっくり返る「返り目」「アゴが下がる「顎落ち」」角が頭から生える「角出し」などが同時に行われる事によって、一瞬に変身する。ある年代以上に方にはNHKの「新八犬伝」の「われこそは玉梓が怨霊：！」と言った後にガバツと人相が変わるアレ！と言えはわかつてもらええると思し、現代人形劇でもこの仕掛けはしばしば見ることが出来る。それにしても、「美女から一気

の鬼女」つて、身に覚えのある男子にとつては、こわい仕掛け。「夏祭浪花鑑」くらいで、男のガブつてのは少ない気がするなあ。
(人形芝居燕屋くすのき燕)





Cie Demain On Change Tout(フランス)のパフォーマンス。巨大人形と楽器の生演奏で街を練り歩きます。子どもたちが後ろに連なり、ハーメルンの笛吹き状態。彼らに引きずり込まれ、ぼくも近くにいた女性とハグさせていただきました。ありがとうございました

本部入口に設置された公演一覧の看板。オレンジの完売を示すシールがたくさん貼られ、盛況を物語っています



牧野飯田市長とフェスタ正副実行委員長。期間中、人形劇に取り組む都市の世界会議AVIAMAの総会が開催され、2018年の総会をヨーロッパ以外では初めて飯田で開催することが決定しました



シャルルヴィルの本屋さん。それぞれのお店が工夫を凝らして人形をショーウィンドーに飾って、街の雰囲気を盛り立てています。ちなみに、シャルルヴィルはアルチュール・ランボー生誕の地としても広く知られています



スペイン・トロウサからの“Le Géant d'Altzo”。バスクの物語をバスクの言葉で、民族の誇りを込めて上演

特集

フランス シャルルヴィル・メジエール 世界人形劇 フェスティバルを訪ねて

いい大人人形劇フェスタ実行委員会はこのほど、2018年に20周年を迎えるいい大人人形劇フェスタにおいて「世界人形劇フェスティバル」併催を計画しています。そこで9月、世界で最も大規模な人形劇の祭典、フランスのシャルルヴィル・メジエールで開催された世界人形劇フェスティバルを実行委員が訪ね、現地を視察。帰国後、レポートを寄せてもらいました。



Miaow Production(フランス)の“Jonny & Sybil”。とても素敵なお芝居を見つけました。観客の煽り方や巻き込み方がすごく上手い。通俗的だけど下品じゃない。台詞はなく、幼児から大人までみんなで大笑いできるお芝居でした

9月23日から29日まで、フェスタ実行委員5名でフランスのシャルルヴィル・メジエール市で開催された世界人形劇フェスティバルの視察を行いました。4日間に渡って様々な人形劇を観たわけですが、印象に残ったことを思いっきり書き連ねてみます。

いくつかの公演では、光と影の使い方が非常に印象的でした。Numen Company(ドイツ)の“Manto”は、暗いステージに等身大の人形が浮かび上がり、光と影で描かれた不思議な世界を彷彿とさせます。演じているのが人形なのか仮面を着けた人間なのかかわからない目眩のような感覚も、現実と幻想の狭間にいるような空気を際立たせているように感じました。

来年ウニマ世界大会を開催するスペインのトロウサからは、バスクの物語をバスクの言葉と子どもたちの歌などでオペラ仕立てにした“Le Géant d'Altzo”が上演されました。民族の誇りを高らかに歌い上げるかのような熱演に感銘を受けました。

もうひとつ素晴らしいと感じたのは、



大道芝居の充実です。街の中心となるデュカル広場とその周辺の路上では、至る所で人形劇が上演されています。そのそれぞれを、時には横を通り抜けれないほど多くの人が楽しんでいました。驚くほどの街の賑わいは、気軽に楽しむことができる大道プログラムによって生み出されているように感じました。これだけを見ても、フランスあるいはヨーロッパの人形劇を楽しむ層の幅広さと興行きの深さを感じることができました。

2018年にはフェスタも20周年を迎え、世界人形劇フェスティバル併催を計画しています。ここで学んだもの、出会ったものを少しでも活かしてゆければと考えております。

いい大人人形劇フェスタ実行委員長 原田雅弘

プログラムは有料。必要な人は電子版のプログラム(こちらは無料)をダウンロードして使うようです。折りたたむと名刺サイズになる会場地図と簡単なプログラム。公演会場は約50、街中に散らばっているので、地図はとても重宝しました



街の中心となるデュカル広場。広場と周辺の街路では至る所で大道プログラムが上演され、平日にもかかわらず人で埋め尽くされています

わくわく イベントスケジュール

- 11 NOV** 人形劇in丘のまちフェスティバル
11月3日(祝) 10:30、12:30、14:30
会場/川本喜八郎人形美術館 料金/無料
出演/P.ことり座「けた子」「ことりになりたい」
上演約1分。定員2名の日本一小さな人形劇を1時間繰り返し上演
- せかいの劇場 Vol.3**
11月21日(土) 18:00-22日(日) 11:00
会場/麻績の館 料金/大人2,000円、
小中高大生1,000円(未就学児入場不可)
出演/ポリナ・ポリソヴァ「Go!」(フランス)
海外の劇団を招聘し、優れた舞台作品を飯田で鑑賞する特別企画
※託児あり。申込締切11月12日
- 人形劇資料展示**
「人形芝居のあらたな楽しみ方① 描かれた人形芝居」
11月23日(祝)まで 会場/川本喜八郎人形美術館
料金/大人400円、小中高生200円
人形劇の図書館コレクションの中から、浮世絵や屏風などに描かれた人形芝居の姿を展示

- 12 DEC** 森のぼかぼかクリスマス
12月6日(日) 会場/かざこ子どもの森公園
出演/よろず劇場とんがらし
人形劇公演のほか、クリスマスリースやピザを作る体験を組み合わせたスペシャル企画 ※有料
- ましゅ&Keiのクリスマス会**
12月23日(祝) 会場/川本喜八郎人形美術館
ましゅ&Keiがゲストに山本光洋を迎えて練り広げる愉快的なステージ ※有料
- 2018 1 JAN** 初春を寿ぐ竹田人形節
1月9日(土) 竹田人形節
出演/竹田人形座鈴木友子、竹田人形座竹の子会
「八百屋お七火の見櫓の段」ほか
初春にふさわしい人形芝居の連続公演

※開催日時など変更になる場合があります。
詳細はいい大人人形劇センターTEL.050-3583-3594へ

Topic News

トピック ニュース 1 飯田の伝統人形芝居2座が長野市で上演

10月3日、飯田市にて300年以上の歴史を有する黒田人形保存会と今田人形座の2座が長野市にあるホクト文化ホールにて上演。約3時間にも及ぶ公演中、観客は三味線の調べと太夫の語りにあわせて操演される人形の動きに終始魅入っていました。公演の合間には1体の人形を3人で動かす特徴的な人形の操演方法を体験するワークショップが開催され、参加者が座員の指導を受けながらお辞儀などの所作を行うと客席から拍手が送られました。特設会場では「人形劇のまち飯田」を紹介するパネル展示や物産展も行われました。



黒田人形保存会が「寿式三番叟」「観音霊験記 壺坂寺の段」(写真)、今田人形座は「戎舞」「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」を上演。伝統人形芝居のワークショップも好評でした



トピック ニュース 2 「人魚姫」台湾・雲林国際偶戯節にて上演



セリフの一部を中国語にし、字幕を効果的に使うことでお客さんの集中が途切れることなく、時には笑いが起こることも。道路や商店に飾られた掲示物には「人魚姫」の写真が印刷されていました

10月2日から11日まで台湾・雲林で開催された「2015雲林国際偶戯節」にて、いいだ人形劇センタープロデュース人形劇「人魚姫」を上演。会場の虎尾中山堂には2日間4公演で1,500人のお客さんに来場いただきました。一部のセリフを中国語にするなど台湾公演用に構成を変更した内容は幅広い年齢層に好評いただき、上演後はキャストが人形を手にお客さんを見送ると記念写真を撮る人の列ができるほど。閉会式では人形劇祭の友好提携を結ぶ飯田の劇団として紹介され、ステージパフォーマンスを披露。市民による飯田発の人形劇が世界に発信されました。

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から①

唐木孝治写真集『どんどろ夢つづり』

「百鬼どんどろ」は、86年から飯島町に居を構えた岡本芳一(1947—2010)のひとり芝居の、人形による妖しさと耽美性の表現を創作して、特に海外では絶大な支持を得てきた人形座である。岡本が奔走し飯島周辺で開催した「アジア人劇祭」(1991)の頃までは「百鬼人形芝居どんどろ」と称していた。その岡本芳一の「どんどろ」を、やはり地元の人形芝居も撮ってきた写真家唐木孝治が、さまざまな視点でとらえた写真集。

「(海外と違い国内では)どちらかというこわい、不気味という目で見られることが多い。人形は本当はこわいのだ」と言う岡本の演ずる人形には、深い優しさがいつもあった。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



スタジオ写真 刊/1991年



後藤康介さんが制作した「かざこし子どもの森公園」の模型を使い提案作品をプレゼンテーション

突撃!!

人形劇のゲンバ Part11

巨大人形劇プロジェクトin南信州が始動

南信州を舞台に大型の人形劇をつくらうとするプロジェクトがスタートしたとの情報をキャッチ。さっそくゲンバをおさえるべく、参加者が集まる会場へ直行しました!

昨年開催した「フイギョアジアタデザインコース」の中で提案された作品プランの中から、飯田市の会社員・後藤康介さんが提案した「さんしよつお」が舞台化に向けて動き出しました。今年のいいだ人形劇フェスタで上演された巨大人形劇「岩見沢人・GENE」の巨大な馬を主観になった方も多いでしょう。後藤さんが提案した「さんしよつお」もそれに匹敵する巨大な人形劇。題材は井伏鱒二の『山椒魚』。かざこし子どもの森公園を舞台に、さまざま水中生物と全長20メートル以上の巨大なサンシ



プロジェクト2日・3日めは「球体」をつくる演習。型紙をおこしてポリエチレンフォームを切り抜き球体に。カッターの刃の入れ方によって素材の断面が合わせやすくなったり、ならなかったり…。なかなか球体にならず苦労する参加者が続出



監督を務める沢則行さんが接着剤や道具の種類、使い方など今後の作業に必要なことを一つ一つ解説

参加者大募集中!

沢則行・巨大人形劇プロジェクトin南信州

人形制作、人形操作、役者、楽器演奏、歌、ダンス、制作スタッフ…どのような形でもこのプロジェクトに関わりたいと思う方、中高生も大歓迎です。ぜひご連絡ください。

—申込み・問合せ—

いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594

ヨウウオが繰り広げるパペットオペラです。プロジェクト初日は一次募集で集まったメンバー20人が参加し、後藤さんが提案作品をプレゼンテーション。監督を務める沢則行さんは「地元の人たちで作ることに意味がある。飯田の宝になるような作品にしたい」と意気込みを語りました。



いいだ再発見

ふるさと飯田をPRする映像を「こま撮り」の手法で撮影した「想いを結ぶ 飯田水引」。完成上映会では、おばあちゃんと孫娘のやりとりを目頭をおさえるお客さんの姿もありました

「こま撮り」で飯田をPR」の巻

わたしたちが暮らす、ふるさと飯田をPRする映像をつくらう、といいだ人形劇センター主催「こま撮りアニメーション・パーフェクトコース」受講者10人による作品が完成しました。全員で、飯田を表すキーワードとアイデアを出し、撮影する作品テーマに決めたのが飯田を代表する地場産業「水引」。農業のかたわら水引工芸の内職をするおばあちゃんが、嫁ぐ孫



受講者が人形や衣装、舞台セットなどの制作工程、撮影の様子を解説。1年にわたる制作期間を経て完成した作品に込めた思いが伝わってきました

映像公開中!
『想いを結ぶ 飯田水引』(3分36秒)
作品を上映したい、ご覧になりたいという方はいいだ人形劇センターへお問合せください。
現在、下記動画サイトよりご覧いただけます。
URL:www.iidatube.tv/

子どもネット八千代が行う「だれも見たことのない生き物を作ろう」の乳幼児コーナーでは紙封筒・紙テープ・画用紙等を使い、紙遊びや道具遊びを体験してもらいました



子どもネット八千代が行う「だれも見たことのない生き物を作ろう」の乳幼児コーナーでは紙封筒・紙テープ・画用紙等を使い、紙遊びや道具遊びを体験してもらいました

娘に水引でテイアラをつくり、披露宴当日に贈る、という物語をこま撮りアニメーションで制作。脚本、絵コンテ、人形、衣装、舞台セット、小道具等すべて受講者がつくりました。
このほど開催された完成上映会では、受講者が撮影用に制作した人形や舞台セット、小道具など制作工程の写真を交えて解説。講師を務めたアニメーター・峰岸裕和さんが「みなさんの努力がカタチになり、非常に完成度の高い作品に仕上がった。多くの方に見てもらいたい」と話すほどの出来栄えに、会場のお客さんから受講者へあたたかい拍手がおくられました。

など目的と実施時間やコマ数によって様々ですが、専門家としての力量と誇りをかけたワークショップが試みられています。人形劇芸術を間に挟んだ子どもたちとの出会いは、ときに日常的に触れ合っている担任の先生も驚くような思いがけない姿を引き出すことも多く、芸術の持つ力への感動と確信を生み出し、私たち専門家への期待と課題も明確になつてきています。
一方、保育専門学校や教員養成の大学で非常勤講師として関わっている人形劇人もいますが「児童文化演習」や「保育教材演習」のくりくりの中にあり、多くの児童文化財の一つとしての人形劇であり、授業時間の短さも加え芸術創造の域に至るまでの指導が困難な状況もあるようです。
将来子どもたちに関わる仕事に従事する若者たちと、総合芸術としての人形劇と、専門家として、舞台人として今を生きる人形劇人との出会い、はもつとあつていい、決して無駄ではないと考えられているのか。



いいだ人形劇フェスタ2015の初日、飯田文化会館にて『ダルドラまつり』を開催。総合工作芸術家だるま森+えりこのお二人と共演し、「うさぎとかめ」「はらべこあむし」を上演。大勢のお客さんにぎわいました

楽しい仲間が やって来た
「今年のいいだ人形劇フェスタで大ファン」の「だるま森」と一緒に上演ができて本当によろしかった」と声を弾ませて話すのは、ばべつとどらのリーダー大浦かつみさん。いとこの大西佑典さんと2人で2011年に劇団を結成。パネルシアターを主に、作品によっては人形も登場するなど年々内容の幅が広がっています。なにより



でも一人で上演がでるようなパネルシアターのサイズを小さくするも。童謡「赤とんぼ」の曲にあわせて場面がかわっていきます

絵を描く心のスケッチ、もライフワークの一つ。11/4~19日ご庁舎にて「大浦かつみ作品展-平和」が開催されます



誰もが感じるのは作品を通して伝わってくる大浦さん・大西さんの優しさ。飯田市内だけでなく、県内の福祉施設やフェスティバルなどから声がかかり、精力的に上演をしています。
「6年前に絵を描くようになったことでパネルシアターに出会い、パネルシアターに出会ってさらに多くの方と知り合うことができた。毎日がとても楽しい」と大浦さん。現在は一人でも上演ができる作品づくりに励む一方、さらに腕を磨くため県外までワークショップに出かけることも。「ずっと続けていきたい」と、全身に力を込めて思いを語ってくれました。

全人協通信
専門人形劇事情④
『演ると楽しい人形劇。』
専務理事
永野むつみ

職業的人形劇人の主な仕事は、勿論人形劇の上演ですが、ワークショップや講演会なども頼まれます。とりわけこのところ文化庁の『文化芸術による子供の育成事業』や「次代を担う子供の文化体験事業」など「芸術家の派遣事業」として学校の生徒や幼稚園児に直接講師として出会う仕事が増えています。



淑徳大学の正課外教育プログラム。頭部はスチロール球に靴下、胴体は木綿布で人形を制作し、人形操作術のレッスン(筆者中央)

一般社団法人 全国専門人形劇団協議会(全人協) 人形劇の普及と芸術性の向上をはかり、人形劇表現への理解と支持を広げることをめざし、1997年に発足。49劇団が加盟しています。